

戦評用紙

| | |
|-----|---------------------------------|
| 大会名 | 第68回藤井杯・高野杯山形県高等学校バスケットボール選手権大会 |
|-----|---------------------------------|

| | | | |
|----|------------------|----|---------------|
| 日時 | 2016年4月24日14:20～ | 区分 | 山形県バスケットボール協会 |
|----|------------------|----|---------------|

| チームA | | | | チームB |
|------|----|----|----|------|
| 山形南 | | | | 羽黒 |
| 82 | 18 | 1Q | 9 | 56 |
| | 19 | 2Q | 17 | |
| | 19 | 3Q | 14 | |
| | 26 | 4Q | 16 | |
| | | 延長 | | |

【戦評】

男子の決勝戦は昨年度と同じ組み合わせとなる、白のユニフォーム山形南と青のユニフォーム羽黒の対戦になった。白は#4・5・6・7・8、一方青は#4・6・7・10・11がスターティングメンバー。ディフェンスは白がオールコートマンツーマン、青はハーフからのマンツーマンでゲームがスタートする。ゲーム開始直後、白は#4の3Pシュート、ブレイクからの速攻など連続得点を挙げ、開始1分30秒白7-0青となり、青がたまたま1回目のタイムアウト。その後青は#10のポストプレイからオフェンスを組み立てるものの、アウトサイドのシュートがなかなか決まらず点差を詰めることができない。2分から5分までは両チームともディフェンスが厳しくなり、得点が動かなくなったが、6分白のプレスディフェンスに青が捕まり、再び連続得点を許す。青は#6・10の3Pで反撃し1Q終了。白18-9青。

2Q、白は早いパス回しからのドライブイン点数を重ねる。一方青は#10を中心にオフェンスを組み立て食らいついていく。両チームとも一進一退の攻防を見せていたが、7分、白のプレスディフェンスに青が再び捕まり、連続でブレイクを許し、白30-19青となったところで青が前半2回目のタイムアウト。その後は両チームとも互いに得点を重ね、白37-26青と、白が11点をリードし前半を終える。

後半もディフェンスは同じ。先に得点を挙げたのは青。#7が鋭いドライブでファールを誘い、フリースローを確実に決める。白も#4がドライブから得点し追撃を許さない。しかし3分、青は#11の3P、#7のミドルと連続で得点し4点差まで詰める。流れが青に傾きかけるが、白は厳しいディフェンスからゲームを組み立てる。7分、再び点差を11点まで戻したところで、青が後半1回目のタイムアウト。しかし流れを変えることはできず、白56-40青と点差が開いて3Q終了。

4Qは青#7の3Pからスタート。追撃を試みるが、ここで青#4が負傷し交代を余儀なくされる。青は後半2回目のタイムアウトを取る。しかしここで、青は白のオールコートディフェンスに捕まってしまう点差を広げられてしまう。青は#5、#11のアウトサイドでシュートなどで食らいつくが、白も#4を中心に得点を重ね、リードを守っていく。5分、青は後半3回目のタイムアウトを取ったものの流れを変えることはできず、点差を詰めることができないままゲームが進んでいく。最後は白がメンバーチェンジで出てきた選手たちが澁刺としたプレーを見せ、点差を広げてゲーム終了。82-56、山形南高校が優勝をおさめた。

戦評者

神位 裕介